

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	防災拠点整備	%	目標	0.00	13.00	94.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	耐震性貯水槽	箇所	目標	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地震、水害等の自然災害が激甚化する中で、防災を意識した街づくりは重要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	拠点整備や公共施設は市で行うべきである。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	施設整備は公共主体であるが、維持管理に関して、地元を巻き込んだ管理体制が必要であり、関係部局、機関の連携も必要である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	コスト削減を意識した整備を行う。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民及び観光客等を対象とした整備を目指している。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
頻発する地震、ゲリラ豪雨による水害等といった自然災害が激甚化するなか、それらに対応する市街地整備が必要となっている、施設整備は行政で行い、管理などは地域を巻き込んだ体制づくり及び防災を意識した街づくりを目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 自然災害が頻発する中、地域住民及び観光客等の安全を守るうえで、街なかにおける避難所の確保は重要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	